



「ビジョン」

“モンゴル国の産業と技術分野の自立した発展に実用的に貢献し、国内に高く評価される高専学校となる”

「ミッション」

“専門的能力とコミュニケーション能力が高く養われた、社会福祉を使命として達成する若き技術者を育成する”

「卒業生モデル・教育目標」

我々は、夢や志を持ち、一途かつ真面目で、健康管理能力を備え、科学的知識と先進技術を多角的な思考力を備え、臨機応変かつ創造的なビジネス思考を併せ持つ若手エンジニアを養成を教育目標とする。



・理事長の挨拶・

「世界に通用するモンゴル人を育成」をモットーにして新モンゴル高等学校を設立以来、さらに2014年に設立した新モンゴル高専設立10周年にあたり、ご支援、ご尽力いただきました元職員を始め教職員および学生、卒業生、国内外のパートナーの皆様により感謝申し上げます。

10年前の高専設立時、初代校長ブヤンジャルガルとともにの優秀な実践的エンジニアを育成する教育機関を目指して参りました。現在、次の10年間の学校目標を設定する時期が来ていますが、モンゴル政府は、高専式の学校を地方にも開校するとともに、特に鉱業、水力発電所、道路や橋の建設開発の目標で、いくつかの主要な長期プロジェクトや計画を立案しました。これらのプロジェクトには、産業の発展と科学技術の進歩に貢献する優秀な実践的技術者を必要とするため、我々は教育の質をさらに高め、設備・機材の環境基準を引き上げ、モンゴルではモデル高専になる目指して行きます。今後は、日本や他の国との協力をさらに拡大し、数多くのプロジェクトや研究を実施し、高度なエンジニアを育成して参りますので、ご支援の程どうぞよろしくお願い致します。

J.ガラバドラッハ（創立者、モンゴル国会議員、教育学博士）

・学校長挨拶・

自らの手で母国を創るをモットーとする新モンゴル高等専門学校は、2014年に設立され60年間歴史のある日本高等専門学校の制度や教育カリキュラムを導入し、当時93人の学生と4人の教職人とともに開校しており、今年度は創立10周年を迎えました。本校はモンゴル国の産業発展に不可欠な5つの工学専門カリキュラムを実施しています。現在600名の在學生と70名の教職人が務め、6回の卒業で合計286名の卒業生を社会に送り出しております。創立10周年を迎えるにあたり、モンゴルに高専を造る活動を始めた皆様、モンゴルに実際に高専学校を設立した創立者の皆様、相変わらず貢献してきた教職員皆様、長い年モンゴル式高専をサポートし、見守って来てくださった日本の皆様により感謝申し上げます。

日本側のご支援とご協力により高専カリキュラムを実施出来き、学生達がさくらサイエンス・様々なコンテスト・短長期インターンシップを日本でも実施し、貴重な経験を備えるとともに、卒業生が日本で就職・編入学する日本の高専卒の進路を歩む、母国・日本・世界の様々な国でご活躍しております。学生に関わらず、教員研修を行った成果でモンゴルで高専式教育を実際実現できることが可能となり、授業・実験実習・研究なども高専の教員の豊富な経験から導入することが出来たことに感謝申し上げます。

10周年を迎える現在は、モンゴル国で高専学校に関する知名度が高まっており、モンゴルの3高専学校がこれからそれぞれの信頼、教育目標や特徴を生かして、これからの国造りに貢献できる技術者を育成しながらモンゴル人若者たちの夢を実現できる場所にもなりたいと存じます。次々の10年を皆様と一緒に歩みたいので引き続きよろしくお願い致します。

新モンゴル高専・校長 オユンジャルガル

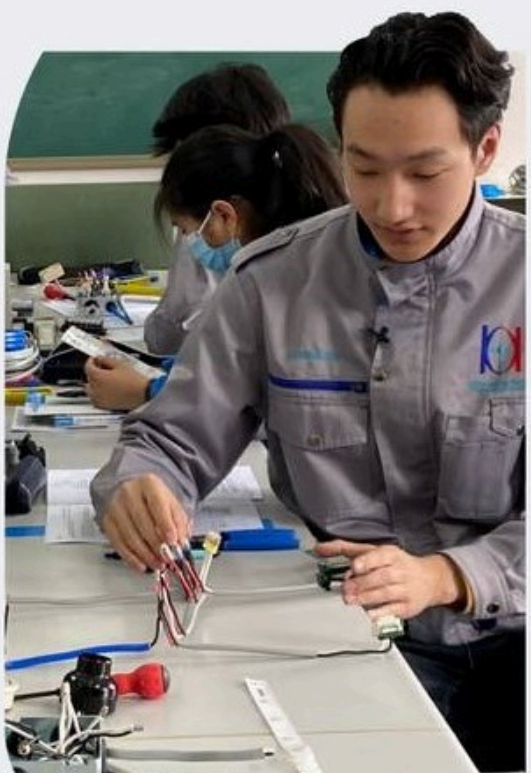
《《《《「実施カリキュラム・学科」》》》》



土木建築工学科

人々の安全・快適な暮らしを支える社会基盤施設の計画・設計・管理のための知識と技術を修得し、自然環境と調和や人類の幸福を追求し、実践できる技術者を育成することを目標とする。富山高専のカリキュラム

在學生：119名
卒業生：76名



電気電子工学科

問題発見能力、問題解決能力、および起業家精神を有した、産業界で活躍できる創造性豊かな実践的電気電子技術者を育成することを目標とする。長岡高専

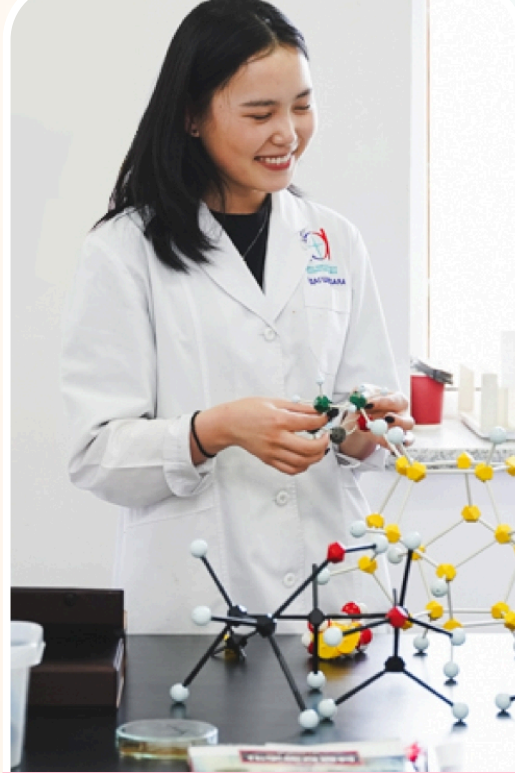
在學生：132名
卒業生：83名



機械工学科

産業界のあらゆる分野でグローバルに活躍できる、創造性豊かな問題発見能力、問題解決能力、および起業家精神を有した、機械技術者を育成することを目的とする。大分高専

在學生：132名
卒業生：76名



物質工学科

物質や生物の知識を基礎として、それから派生する工学の基礎知識と技術を備えた環境問題や新しい科学技術に対応できる、実践的な技術者を育成することを目的とする。佐世保高専のカリキュラム

在學生：95名
卒業生：50名



コンピューターサイエンス学科

エレクトロニクスとソフトウェアの基礎・現代の新技术に関する高度な知識と実践を備えた、工学倫理、研究者、創造性を備えた競争力のあるイノベーターエンジニアを育成することを目的としています。久留米、木更津、函館高専カリキュラム

在學生：114名
卒業生：—（来年度卒業）



本校の教職員(23-24年度)

66+

教職員数

20+

教職員の翻訳・出版した教科書数

60+

日本で教員研修プログラムに参加した教員数

7

高専の専門コンテストに参加状況

200+

日本での長期・短期プログラムに参加した学生数

286

卒業生数

新モンゴル高専・学生の才能チャレンジと実績



「DEZACON」2017年～
2017年から日本で開催される国際ディズコン (DIZACON) コンテストに継続的な出場



「ABUロボコン」2018年～
ABU-ROBOCONモンゴル全国大会には2018年から継続して参加している。
トップ8に入る成功を収めました。



「DCON」2020年～
2020年以降、新モンゴル高専の学生は国際的な Deep Learning Contestに参加。
2020年に、モンゴル国を代表して参加し、36チームの中でベスト10に選ばれた。

「PROCON」2023年～
2023年以降、新モンゴル高専の学生は国際的な日本で開催されるProconコンテストにコンピューターサイエンス学科の3年、4年生の2チームが参加。



「全国電気工学オリンピック」
2022年から全国電気工学オリンピックに出場し、団体戦で2つの金メダルと3つの銀メダル、個人戦で2つの金メダル、2つの銀メダル、3つの銅メダル、さらに3つの特別賞を受賞しました。



「CANSAT」2022年～
2022年から新モンゴル高専の「New Space」チームは、カンサット (CanSat) 全国マイクロ衛星打ち上げ大会に参加。
第2位、特別賞、第3位を獲得しました。

「全国学生化学オリンピック」2019年～
2019年以降、4年・5年生がチームと個人戦で連続的に参加。
銀メダラー1, 銅メダラー3、3年生が全国化学オリンピックで銅メダルを獲得。



「全国情報オリンピック」
2023年に、第9期生の
T.ツェルメグが銀メダルを獲得し、第8期生の
M.モロルが特別賞を受賞。アジア
太平洋地域の情報オリンピックでは、
T.ツェルメグがモンゴル国を代表して参加しました。



「全国プログラミングオリンピック」
第8期生、M.モロルとZ.ドルゴンは、2024年全国プログラミングオリンピックに初参加で、個人部門においてモンゴルを代表して参加しました。

「日本語大会・スピーチコンテスト」2019年～
モンゴル全国日本語大会やスピーチコンテストに出場。
新モンゴル高専の学生が2つの金メダルと3つの銀メダルを獲得しました。



「全国・国際スポーツ大会」
2023年、新モンゴル高専の学生たちはチェスの競技で東アジア選手権に出場し、各種目で3つの銀メダルを獲得した。

新モンゴル高専のタイムライン



2014

“「新モンゴル高専」は、2014年9月15日にJ.ガルバドラク氏とS.ブヤンガル氏によって創立されました。初年度、93名の学生が3つのクラスに分かれて授業を開始した。

2015

国際協力の一環として、「教員・学生交換プログラム」が実施され始めました。

2016

モンゴル国の教育法第15条の改正により、4月14日、「技術高等専門学校」が「高等教育機関」として認定され、4つの学科の教育活動を行う特別許可を取得しました。



2017

課外活動を通じた「人づくり」プログラム
課外活動 総種 19のクラブ部活
学生の成長を支援する「ライフスキルと技能開発プログラム」も実施され始めました。

2018

日本の山形北ロータリークラブが、学校に必要な設備を購入するための財政的支援を行い、元会長の菱沼氏と小野氏をご訪問されました。



2019

第一期生53名が「技術者のディプロマ」を取得しました。卒業生協会が設立され、化学工学の卒業生であるB.ムンクメグが会長に選ばれました。

2020

モンゴル初、機関別認証評価を受けた高等専門学校、5年間の「認定証」を受領

2021

学生教育基盤を充実させるために、Moodle (elearn.nmct.edu.mn) やxcloud (tw.xcloud.mn) といったオンライン学習システムが導入されました。
「学生研究会」
2021年から毎年、2年生～5年生が参加している。



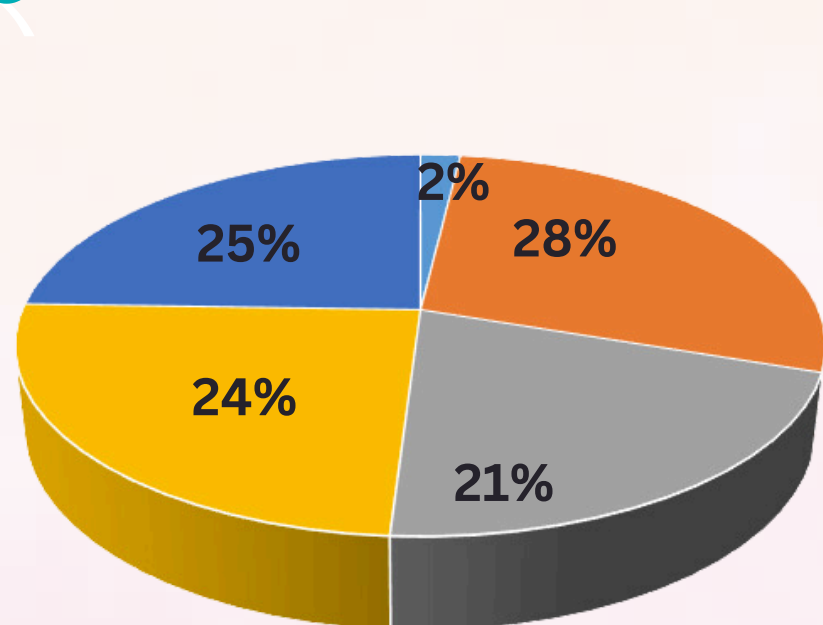
2022

社会のニーズや学生の要望に基づき、「コンピュータサイエンスプログラム」が予備認定を受け、コンピューターサイエンス学科を開校した。

2023

モンゴルの高等教育法が改正され、技術者の「準学士号」を授与するようになりました。

卒業生の進路・キャリア



■日本以外の国へ留学 ■モンゴルで進学 ■モンゴルで就職
■日本に進学 ■日本に就職



国立大学法人
豊橋技術科学大学

豊橋技術科学大学に3年次編入者数:
1期生 5名 (化学4、電気電子1)
2期生 2名 (機電1、電気電子1)
3期生 5名 (機電1、電気電子2、IT1、建築1)
4期生 7名 (電気電子4、IT2、化学1)
5期生 8人 (電気、IT、機械、建築、化学)

KOSEN
国立高等専門学校機構

仙台高専専攻科入学:
1期生 2名 (建築1、電気電子1)
3期生 1名 (建築1)
4期生 2名 (建築2名)

久留米工業大学
KURUME INSTITUTE OF TECHNOLOGY

久留米工業大学に3年次編入者数
1期生 1名 (IT1)
2期生 1名 (機械1)

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

千葉工業大学に3年次編入者数
1期生 3名 (化学1、建築2)
2期生 2名 (建築1、IT1)
3期生 1名 (IT1)

nmct.edu.mn

+976-75777799

New Mongol KOSEN "Шинэ Монгол
Технологийн Коллеж"